

## 学修の成果に係る評価及び卒業・修了の要件

### 1. 単位の認定

単位の認定の可否は、成績評価の結果で判定を行います。授業科目の成績評価の方法は、科目ごとに「シラバス」に明記しており、その方法に従って厳正に実施されています。成績評価は、筆記試験、実技試験、レポート、口述試験、学習成果物の併用等によって行います。成績評価基準は、表1のとおりとなります。

表1 成績評価基準 \*GPAの数値は小数点第2位を四捨五入しています。

判定	評価	評点	GP	評価内容
合格	S	100～90点	4.0	特に優れた成績 (学習目標をほぼ完全に達成している)
	A	89～80点	3.0	優れた成績 (学習目標を相当地に達成している)
	B	79～70点	2.0	良好な成績 (学習目標を相応に達成しているが、不十分な点がある)
	C	69～60点	1.0	合格と認められる成績 (学習目標の最低限は満たしている)
不合格	不可	59点以下	0.0	不合格 (学習目標の最低限を満たしていない)
	欠席	—	0.0	再試験欠席又は、単位認定試験欠席
	無資格	—	0.0	全授業数の3分の1を超える欠席の場合
GPA 対象外	認定	—	—	他大学等で修得した科目を本学の単位として認定した科目
	中止	—	—	指定の期日までに履修の取り消し(中止)を申し出た選択科目

#### (1) GPAについて

GPAとは、Grade Point Averageの略で、欧米の大学で広く採用されている成績評価システムのことです。評価に対し、それぞれグレードポイントを与え、これに各科目の単位数を掛け合わせ、その総和を履修総単位数で割った値がGPAの数値となります。不合格の科目のGPは、0ポイントとして計算されますので、履修科目の登録を慎重に行う必要があります。また、当該学期のGPAが0.8未満の学生には、学科長又は担任教員から口頭での指導があります。さらに、当該年度の2期連続GPAが0.8未満かつ年度累積GPAが0.8未満で、学習意欲が認められないと判断された場合には、退学勧告をすることがあります。

#### (2) GPAの算出方法

・計算式

$$GPA = \frac{\text{(当該科目の単位数} \times \text{履修科目のGP)の総和}}{GPA \text{算出対象科目の履修総単位数}}$$

・算出例

科目	単位数	成績	GP	単位数×GP
英語 I	1 単位	A	3	1×3=3
化学	2 単位	S	4	2×4=8
生物学	2 単位	C	1	2×1=2
食品学実験	1 単位	無資格	0	1×0=0
基礎栄養学	2 単位	不可	0	2×0=0
合計	8 単位			13

$$GPA = 13 \div 8 = 1.63 \text{ (小数点第2位を四捨五入)}$$

#### (3) GPA算出の対象科目

他大学等で修得した科目を本学の単位として認定した科目、中止した科目、その他科目(ただし教職科目は含む)以外の科目。

## 2. 卒業・修了の要件（2023年度入学者）

本学の卒業要件は表2のとおり、専攻科の修了要件は表3のとおりに設定しています。

表2 卒業の要件

学科	専攻 コース	要 件	必修科目		選択科目	
			基礎教育科目	専門教育科目	基礎教育科目	専門教育科目
生活科学科	生活科学専攻 生活文化コース	入学後2年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 2年次修了時点で、当該コースの全ての必修科目及び指定された単位数以上の選択科目の単位を修得し、総単位数が62単位以上であること。	9単位	21単位	3単位 以上	29単位 以上
	生活科学専攻 養護教諭コース	入学後2年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 2年次修了時点で、当該コースの全ての必修科目及び指定された単位数以上の選択科目の単位を修得し、総単位数が62単位以上であること。	4単位	4単位	8単位 以上	46単位 以上
	食物栄養専攻 栄養士コース	入学後2年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 2年次修了時点で、当該専攻の全ての必修科目及び指定された単位数以上の選択科目の単位を修得し、総単位数が64単位以上であること。	6単位	52単位	6単位 以上	—
こども教育学科	こども教育専攻 こども教育コース	入学後2年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 2年次修了時点で、当該専攻の全ての必修科目及び指定された単位数以上の選択科目の単位を修得し、総単位数が62単位以上であること。	6単位	39単位	6単位 以上	11単位 以上
	こども教育専攻 (通信教育課程)	入学後3年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 3年次修了時点で、当該専攻の全ての必修科目及び指定された単位数以上の選択科目の単位を修得し、総単位数が93単位以上であること。	6単位	32単位	3単位 以上	18単位 以上
ライフケア学科	臨床検査専攻 臨床検査コース	入学後3年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 3年次修了時点で、当該専攻の全ての必修科目の単位を修得し、総単位数が105単位以上であること。	14単位	91単位	—	—
	柔道整復専攻 柔道整復コース	入学後3年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 3年次修了時点で、当該専攻の全ての必修科目の単位を修得し、総単位数が100単位以上であること。	14単位	86単位	—	—
	柔道整復専攻 (一部)	入学後3年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 3年次修了時点で、当該専攻の全ての必修科目の単位を修得し、総単位数が100単位以上であること。	14単位	86単位	—	—

表3 修了の要件

学科	専攻	要件	必修科目		選択科目	
			基礎教育科目	専門教育科目	基礎教育科目	専門教育科目
専攻科	こども教育学専攻	入学後1年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 1年次修了時点で、当該専攻の必修科目及び指定された単位数以上の選択必修科目、選択科目の単位を修得し、総単位数が23単位以上であること。	—	21単位	—	<選択必修> 2単位
	養護教諭専攻	入学後2年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 2年次修了時点で、当該専攻の必修科目の単位を修得し、総単位数が68単位以上であること。	—	68単位	—	—
	臨床工学専攻	入学後1年以上の在学が必要となる。 ※休学期間は在学期間に加算されない。 1年次修了時点で、当該専攻の必修科目の単位を修得し、総単位数が79単位以上であること。	—	79単位	—	—